

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事は楽しみのひとつであり、食べたい物があるのに、食べていただける環境作りが出来ていない。	食レクを通して、食に対する楽しみや、作る過程を一緒に行える。	食品ロスへの取り組みで週2回の自由献立を行い、季節に合わせたメニューを利用者様と考え、一緒に作る事で、食に対する楽しみを持っていただく様に支援する。	12ヵ月
2	48	生活が単調になってしまい、活気がない。	自分の役割となる作業を勧めて継続していく。	テレビを見るだけの生活では無く、軽作業等を通し、役割を持って頂き、継続して行える事を考えていく。毎日行う事で、利用者様の変化を観察して、その方にあった作業を提案していく。	12ヵ月
3	33	看取り・終末期のケアについての周知・理解が不十分である。	重篤化・看取りに向けての研修会を実施する。	研修会を通して、職員の理解を深めて看取りケアを行えるスキルを持っていく。重篤化した利用者様の対応においても、医療との連携を含めて対応できる様にしていく。	12ヵ月
4	13	職員の年齢、介護歴等により、職員の介護力の差があり、研修等で学んだ事が実践に活かしきれていない。	研修や勉強会を通して個人のスキルアップを図る。	毎月の内部研修や、個別のカンファレンスを通し、意見を言い合える環境を待つ。研修で得た知識を実践で使える様に個人が、研修内容を見返りをし、知識をつけていく。	12ヵ月
5	64	住み慣れた地域の資源を有効に利用できていない。	利用者の希望に沿って、会いたい人、行きたい場所に行く事が出来る。	利用していた、なじみの場所や、なじみの人に出会う事で、今までの生活を思い出し、生活に張りを持って、楽しみが増える。生活が単調にならない様に支援する。	12ヵ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。